

令和5年度組織目標

部局名	文化スポーツ部
	○文化スポーツを「する」「みる」「支える」核となる拠点づくり 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ 希望が丘文化公園活性化方針の方向性を提示 ・ 新琵琶湖文化館整備について、業者を決定し、設計に着手
	○文化スポーツ部主要プロジェクトの着実な推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「幻の安土城」復元プロジェクトの推進（令和の大調査、安土城考古博物館展示改修等に着手） ・ びわ湖マラソンの定着・深化（部局連携を強化した上、令和5年度も実施） ・ 国スポ・障スポ大会の着実な準備（式典実施計画策定、鹿児島国体総合成績10位以内等）
	○次の文化スポーツ施策の芽出し 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立美術館の魅力向上の方向性を提示 ・ 安土城築城450年祭の方向性の検討を開始 ・ 国スポ・障スポ大会レガシーを具体化
	○文化スポーツイベント等における“CO2ネットゼロ”の追及 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2ネットゼロを意識したびわ湖マラソンの開催 ・ CO2ネットゼロでの国スポ・障スポ大会を具体化 ・ その他イベントでのCO2ネットゼロの開催を追及

所属名	文化芸術振興課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○希望が丘文化公園活性化方針の策定に向けた迅速かつ着実な推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ R6.3までに宿泊施設の規模・機能等を決定
	○障害者文化芸術活動推進計画の改定 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ R6.3までにさらなる鑑賞機会創出や創作活動促進等を図る計画に改定。
	○美術館の魅力向上の検討 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ R6.3までに課題の洗い出しと今後の取組の方針をまとめる。
	○【見直し・効率化】会議・研修会の開催方法等の見直し 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の効果を踏まえた事務負担の軽減

所属名	文化財保護課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○「幻の安土城」復元プロジェクトの着実な推進 <ul style="list-style-type: none"> ・令和の大調査の開始（次世代文化財技師の育成） ・デジタルによる見える化実施設計（親子向けメニュー検討） 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・博物館第1期展示改修の開始（R7.3月リニューアルOPEN） ・築城450年祭（R7～8）に向けて部局横断による検討開始 ・情報発信の強化（安土城等の情報を知事会見で月1回発信）
	○彦根城世界遺産登録に向けた国内推薦の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・国内推薦候補の選定に向けて推薦書等を磨き上げ ・国際会議の開催（オンライン1回、現地1回） 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催（県内1回、県外1回） ・機運醸成の推進（部局・関係機関連携の継続・強化）
	○（仮称）新・琵琶湖文化館整備の着実な推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の決定・設計業務の開始、整備に向けた機運の醸成（県民フォーラムの開催等）
	○幅広い世代や地域を対象とした文化財の活用事業の推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の魅力発信のための講座・セミナー等50回以上（うち県外向け活用事業10回以上）、参加者数3,500人以上
	○【見直し・効率化】ヒューマンエラー防止に向けた文書簡素化 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・国、市町等宛て通知文の簡素化（記載内容や通知自体の削減） ・補助金に係る通知等様式の統一化
	○【見直し・効率化】課内協議のペーパーレス化の推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・効率化・省力化に繋がるペーパーレス協議を推奨（50%以上） ・協議記録もペーパーレスで簡潔に残す ・後で確認可能なようにファイル名や保存フォルダを整理

所属名	スポーツ課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○スポーツで滋賀を元気に! <ul style="list-style-type: none"> ・成人（男・女）の週1回以上のスポーツ実施率 56%以上 ・スポーツボランティア参加者数 3,000人以上(マラソン大会を含む) 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・世界一（ひとつ）のびわ湖マラソン開催 ・「滋賀レガシー」創出につながる取組の推進
	○着実な施設整備と、新たな施設の運用 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・障スポ大会に向けた着実な推進
	○【見直し・効率化】びわ湖マラソンに向けた柔軟な体制の構築 目標： <ul style="list-style-type: none"> ・県庁一丸となりそれぞれの強みをいかした体制を構築し、効果的・効率的な大会準備を進める。

所属名	国スポ・障スポ大会局
R5年度に特に注力する事項（目標）	○みんなが”輝く”国スポ・障スポを目指した大会準備 目標： ・わたSHIGA輝く国スポ開催認知度60% ・わたSHIGA輝く障スポ開催認知度50%
	○選手が”輝く”国スポ・障スポを目指した競技力向上 目標： ・令和5年特別国体天皇杯順位 10位以内 ・障スポ選手（新たに50人）・スタッフ（総計128人）の確保
	○2025滋賀レガシー検討 目標： 7つのレガシーの具体化

局内室名	国スポ・障スポ大会局 総務企画室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○滋賀らしい大会（”やさしい”式典、（仮）CO2ネットゼロ）の具体化 目標： ・滋賀らしさを盛り込んだ式典実施計画の策定 ・（仮称）CO2ネットゼロ宣言 等
	○わたSHIGA輝く国スポ・障スポに向けた着実な準備 目標： 業務の円滑な進行、月次の進行管理の徹底
	○【見直し・効率化】DXを活用した大会入場者管理業務の省力化・効率化 目標： 入場者管理をDXを用いて省力化できる方法について検討・実践

局内室名	国スポ・障スポ大会局 広報・県民運動室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○わたSHIGA輝く国スポ・障スポに向けた「県民に届く広報」の強化 目標： 若年層や女性を意識した効果的な広報による県民の認知度向上
	○県民の機運醸成につながるボランティア募集 目標： 運営ボランティア、手話・要約筆記ボランティアの10月募集開始
	○【見直し・効率化】関係機関・団体等の発信力の活用 目標： 市町との連携を密にするとともに、企業・団体等に協力を呼びかけながら広報活動の展開を図る。

局内室名	国スポ・障スポ大会局 競技運営室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○市町の国スポ競技会準備業務への支援 目標： 市町の負担軽減となる取組を進め、円滑な競技会開催につなげる（競技補助員確保の全体調整、各競技への県の積極的関与など）
	○障スポおよび国スポ県運営競技の各競技会開催準備の推進 目標： 選手や観客に配慮した安全・安心な会場づくりのための設計を完了
	○【見直し・効率化】競技会運営における簡素・効率化の検討 目標： 先催県の例に捉われず、記録業務のデジタル化、業務手順の簡素化、県外開催競技準備業務の効率化などの検討を完了

局内室名	国スポ・障スポ大会局 施設調整室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○市町競技施設整備の着実な支援 目標： 整備完了施設：R4末 19/47 → R5末 29/47
	○市町、競技団体と連携した第2次仮配宿の実施 目標： 各競技団体の本部宿舍案の決定
	○【見直し・効率化】公共交通機関を活用した環境にやさしい開・閉会式輸送の検討 目標： 一般観覧者の最寄駅からの徒歩参集の実現に向け道筋をつける

局内室名	国スポ・障スポ大会局 競技力向上対策室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○「わたSHIGA輝く国スポ」に向けた成年選手の計画的確保の推進 目標： 「成年選手確保計画」に基づき、R6.4月採用で約70人の選手を確保
	○本国体未出場・未入賞競技の競技力の底上げ 目標： R5目標(国体総合成績10位以内、近畿ブロック大会65種目以上・次点を合わせた突破率70%)に向け、競技団体に対し積極的に助言・支援
	○「わたSHIGA輝く障スポ」に向け不足する選手・スタッフの特定と確保 目標： 出場選手枠・チームの特定を進め、障害種別等を勘案した選手確保(想定約50人)、選手を支えるスタッフの充足(総計128人)を図る
	○【見直し・効率化】出場選手にかかるメディカルチェックの効率化 目標： スマートフォンアプリを活用したメディカルチェックシステムを構築する。